

【運動器】 認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関 受講案内



対 象 ：登録理学療法士取得者

登録理学療法士登録番号をご準備下さい。

日本理学療法士協会のマイページより、認定証を出力することができます。

定 員 ：各期 20 名

金 額 ：20,000 円（基礎 15 講義・専門 5 講義 合計 20 講義の金額となります）

講義方法：全講義オンデマンド形式（開講期間内での動画視聴をして頂く形式）

第 1 期と第 2 期と第 3 期で 3 期の開催となります。（どれか 1 つの期間で修了となります。）

第 1 期：5 月 1 日から 10 月 31 日の 6 ヶ月間

第 2 期：8 月 1 日から 1 月 31 日の 6 ヶ月間

第 3 期：11 月 1 日から 1 月 31 日の 3 ヶ月間

各期、3～6 ヶ月の間に全 20 講義をご自身のペースで受講して頂きます。

動画をオンデマンドで閲覧して頂き、動画内のキーワードを送信して頂き受講確認となります。

全 20 講義分のキーワードを送って頂いて、受講修了となります。

申込方法：申込フォームより、必要事項を入力して下さい。

入力頂きましたら、担当者よりご連絡させていただきます。

	申し込み URL	申し込み QR コード	申し込み期日
第 1 期	https://forms.gle/s5ZMhCFLH3KsXdNa9		〆切
第 2 期	https://forms.gle/wA3xy1zsFYWTRtiz9		2025 年 7 月 25 日締め切り ↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓ 期日後となりますが、受講希望の方は、 nishikawa-seminar@naoso.com までご連絡下さい。
第 3 期	https://forms.gle/wsQHF7CAZfpnAhT58		2025 年 10 月 25 日締め切り

講義内容：

講義内容
1.正常な構造・機能と疾病の基礎
2.医学的診断と治療介入
3.理学療法介入の意義と理学療法士の役割
4.疾患によって生じる障害とその評価および予後予測
5.筋力評価の方法と筋力増強のメカニズム
6.関節可動域制限の要因と治療手技
7.運動器疼痛の評価と理学療法
8.骨折・外傷後の治癒過程と理学療法
9.自立支援や疾病管理の補助具、機器とその活用
10.患者・家族教育の意義とその方法
11.変形性関節症の理学療法
12.筋・腱・靭帯損傷後の外科的治療と理学療法
13.末梢神経障害の理学療法
14.発症予防、重症化予防、再発予防
15.社会資源の活用
16. 疾病・障害特異的理学療法の実践（技術編2） （肩関節疾患の機能解剖と理学療法）
17. 疾病・障害特異的理学療法の実践（技術編3） （脊椎疾患の機能解剖と理学療法）
18. 疾病・障害特異的理学療法の実践（技術編4） （股関節疾患の機能解剖と理学療法）
19. 疾病・障害特異的理学療法の実践（技術編5） （膝関節疾患の機能解剖と理学療法）
20. 疾病・障害特異的理学療法の実践（技術編6） （足関節疾患の機能解剖と理学療法）

※全講義受講修了者は、今年度中に日本理学療法士協会に修了報告を提出させていただきます。今年度中に修了することで、来年度の運動器認定理学療法士の受講要件の1つを満たすこととなります。受講年度に認定理学療法士を受験することはできません。受講年度の次年度となります。細かい制度についての確認は、[日本理学療法士協会のホームページ](#)の『認定理学療法士の取得』よりお願い致します。

担当者：西川整形外科リハビリテーション部 大山隆人